

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 気管・気管支腺様嚢胞癌治療症例の検討

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 吉井直子 (呼吸器センター外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2023年10月21日～2024年3月31日

腺様嚢胞癌は分泌腺から発生する癌で、比較的まれな腫瘍で、発生部位としては、唾液腺などの頭頸部領域が多いですが、気管・気管支、乳腺、子宮などでも見られることがあります。2018年呼吸器外科領域の本邦手術報告例の内、気管腫瘍は127例0.1%で、原発性悪性気管腫瘍は59例、腺様嚢胞癌は17例でした。標準治療は外科的切除ですが、切除不能や再発・転移例に対しての薬物療法については、低悪性度腫瘍であることや稀少癌であることから症例数も少なく、確立されたものではありません。そこで、当科の気管・気管支原発腺様嚢胞癌治療例について、一次治療および再発時治療を中心に検討します。

方法：カルテを用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2007年1月から2020年12月、当科で腺様嚢胞癌にて治療を行った11例

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：① 臨床所見 (年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報 等)

② 血液所見 (血液生化学 等)

③ 画像検査 (胸部レントゲン、CT 等)

④ 生理検査 (肺機能検査 等)

⑤ 治療 (一次治療内容、術後治療有無・内容、再発有無・治療内容 等)

⑥ 治療反応性・予後 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

呼吸器センター外科 吉井直子

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971